

■ 掲示板

■ 兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所 教員公募

1. 公募人員：教授 1名
2. 所属部門：光・量子科学技術大講座
3. 専門分野：放射光を利用した材料分析，新素材開発等に関する研究実績があり，放射光ビームラインの性能向上や応用研究を推進し，かつ放射光施設ニュースバルでの材料分析の産学連携を推進する業務能力を有する者
4. 応募資格：博士号取得者で，大学・大学院教育，研究指導にも情熱のある者
5. 着任時期：2010年10月1日
6. 提出書類：
 - ①履歴書（写真添付）
 - ②研究業績の概要（1000字程度），
 - ③研究業績リスト（論文，特許，著書，解説など）
 - ④主要論文別刷り 5編（コピー可）
 - ⑤着任後の研究計画及び教育への抱負（各々1000字程度）
 - ⑥紹介可能者2名の氏名・連絡先
7. 応募締切：2010年7月9日（消印有効）
8. 書類提出及び問い合わせ先：
〒678-1205 兵庫県赤穂郡上郡町光都 3-1-2
兵庫県立大学高度産業科学技術研究所課長 吉田 保和 宛
「教員応募書類在中」と朱筆（書類返却不可）
問い合わせ：
兵庫県立大学高度産業科学技術研究所課長補佐 宮本 賢一
TEL：0791-58-0249

■ 北海道大学電子科学研究所助教または准教授公募

北海道大学電子科学研究所において，下記のとおり助教または准教授を公募いたします。

1. 所属研究部門及び公募人員：
電子材料物性研究部門 コヒーレント X 線光学研究分野 助教または准教授 1名
2. 研究分野の内容：
本研究分野では，放射光や自由電子レーザーなどのコヒーレントな先端的短波長光源を利用した顕微鏡・イメージングなどに関して，手法・装置開発から応用に至る研究に取り組んでいます。例えば，蓄積リングのアンジュレーター放射光を利用した細胞小器官のイメージングや，自由電子レーザーを用いた超高速ダイナミクスのイメージングなどを研究テーマとしています。これまでの研究分野は特に問いませんが，物理学と情報科学の素養を持つ方が望ましいです。これら研究に興味があり，意欲的に取り組んでいただける方を希望します。
3. 担当授業・大学院との関係：大学院情報科学研究科生命人間情報科学専攻の大学院教育を担当予定です。
4. 資格：博士の学位を有するか，取得見込みの方。
5. 公募×切：平成22年7月20日（火）必着。（封筒に「応募書

類在中」と朱記し，書留で郵送すること）

6. 着任時期：採用決定後，できるだけ早い時期。
7. 任期：有り。
8. 提出書類：
 1. 履歴書（写真添付）
業績リスト（原著論文，総説及び解説論文，著書，国際及び国内学会における講演，特許及び工業所有権，等に種別すること）
 2. 主要論文の別刷り 5編以内（各1部）
 3. これまでの研究の概要（A4判2枚以内）
 4. 研究計画（A4判2枚以内）
 5. 研究助成金取得状況（科学研究費補助金，他省庁及び民間も含め，それぞれの種目，タイトル，代表，分担の区別，をつけること）。
 6. 参考意見を求めることができる方（2名）の氏名及び連絡先
9. 書類送付先：〒001-0021 札幌市北区北21条西10丁目
北海道大学電子科学研究所 西野 吉則 宛
10. 連絡・問い合わせ先：
北海道大学 電子科学研究所 西野 吉則
電話：011(706)9354（直通），
E-mail：yoshinori.nishino@es.hokudai.ac.jp
<http://cxo-www.es.hokudai.ac.jp/>

■ 佐賀大学 教員公募

- 公募人員：理工学部電気電子工学科 知能計測制御工学講座 教授 1名
（本年4月より工学系研究科電気電子工学専攻に所属していただきます）
- 専門分野：広い意味のエネギー工学や量子ビーム工学の分野
- 応募資格：
 - ・博士の学位を有する方
 - ・世界的に顕著な業績を有し，特色有る研究を展開するとともに，本学中期計画に沿って，専攻の将来発展ならびに学内他専攻・共同施設や学外組織との連携推進を先導できる方
 - ・大学院の研究指導が担当できる方
- 着任時期：2011年4月1日（予定）
- 応募締切：2010年7月30日（金）必着
- 問合せ先：
電気電子工学科 教授 鎌田雅夫
電話：0952-28-8854，FAX：0952-28-8855，
E-mail：kamada@cc.saga-u.ac.jp
詳細：<http://www.saga-u.ac.jp/other/boshu.html> のうち理工学部電気電子工学科を御覧下さい

■ 第12回（2010年度）サー・マーティン・ウッド賞受賞候補者推薦要項

1. 趣旨：凝縮系科学に係わる若手研究者に対して研究のインセ

ンティブ、モチベーションを与えます。

2. 対象分野：広い意味の凝縮系科学（例：凝縮系物理学，無機・有機固体化学，材料科学，表面・界面科学）

3. 候補者：日本における研究機関で，凝縮系科学における優れた業績をあげた40歳以下（2010年4月1日現在）の若手研究者。国籍は問わない。

4. 賞の内容：受賞は原則として毎年1件とし，受賞者には賞状，賞金50万円と英国のいくつかの大学への講演旅行の機会が与えられます。

5. 推薦依頼先：関係専門分野の有識者，関連諸学会

6. 推薦件数：各推薦者から一件とします。

7. 推薦方法：所定の推薦用紙に必要事項をご記入の上，下記事務局にお送り下さい。

自薦も受け付けております。自薦，他薦共に，候補者の業績内容を最も良く理解していると考えられ，当方より問い合わせ照会の

できる2名の方（推薦者以外の方）の氏名，所属，肩書き，連絡先を記入して下さい。

8. 締切期日：2010年8月1日（日）消印有効

9. 選考：サー・マーティン・ウッド賞選考委員会にて審査，選考します。

10. 決定：2010年9月の予定です。

11. 賞の贈呈：2010年11月に英国大使館で行う予定です。

12. 推薦書提出先及び連絡先：

〒135-0047 東京都江東区富岡 2-11-6

オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社内

ミレニアム・サイエンス・フォーラム事務局

TEL：03-5245-3871 FAX：03-5245-4466

E-mail：msf@oxinst.com

http://www.msforum.jp/

■ 会告

■ 日本放射光学会第86回評議員会議事録

日 時：2010年4月10日（土） 14：00～16：00

場 所：理研東京連絡事務所 会議室

出席者：足立伸一（編集幹事），雨宮健太，雨宮慶幸，石川哲也，尾嶋正治（会長），柿崎明人，河田 洋，木下豊彦，木村真一（会計幹事），小杉信博，坂田 誠，繁政英治，下村 理，辛 埴，田中 均，谷口雅樹，中井 泉，生天目博文，野村昌治，間瀬一彦，水木純一郎（渉外幹事），村上洋一，八木直人，山本雅貴，横山利彦，渡辺 巖，渡辺信久 各評議員
原田慈久（庶務幹事），木村 滋（行事幹事）

欠席者：太田俊明，北村英男，中川和道

事務局：佐藤亜己奈（WORDS），西野三和子（WORDS）

〈審議事項〉

1. 次期評議員選挙

原田庶務幹事より次期評議員選挙のスケジュールについて報告があった。例年より開票作業までのスケジュールを2週間早めたこと，今まで締切日必着で候補者推薦の依頼をしていたが，消印有効としたことについて説明があり，これを承認した。

2. 第15回学会奨励賞公募

原田庶務幹事より第15回学会奨励賞の応募要綱について説明があり，これを承認した。

3. 放射光基礎講習会

木村行事幹事より第2回放射光基礎講習会の企画案について説明があり，これを承認した。開催日は2010年8月17日～18日，開催場所は東京大学工学部5号館52号講義室を予定。テキストは「放射光ビームライン光学技術入門」を使用する。参加費については学会員は無料（+テキスト代2000円）とし，共催団体会員・職員は2000円（+テキスト代2500円），非会員5000円（+テキスト代2500円），学生非会員1000円（+テキスト代2500円）とする。

4. 放射光科学の将来計画（ロードマップ）作成について

尾嶋会長より，放射光科学のビジョン・ロードマップ（2020年将来計画）を作成するために物質科学・生命科学・学際領域の3分野でWGを設置する提案がなされた。これについて，WGを取りまとめる特別委員会の必要性や，放射光科学から新しい学問領域をつくる枠組みの必要性などの意見が出された。議論の結果，まずは特別委員会を設置し，そこでどのような分野のWGが必要かを検討することとなった。委員長等の詳細については次回評議員会までに検討する。

5. 23学会共同シンポジウムの共催について

尾嶋会長より2010年4月28日に東京大学で開催される「23学会共同シンポジウム 科学・技術による力強い日本の構築—我が国の科学・技術の進むべき方向と必要な政策を提言する—」について説明があり，本学会も共催団体となることを承認した。

6. 協賛・後援について

原田庶務幹事より本学会に対する協賛・後援・共催依頼について報告があり，協賛7件，後援2件，共催1件を承認した。

7. 会員異動（入会）

原田庶務幹事より，第85回評議員会以降の入会申請者に関して，正会員17名（うち学生会員2名）の報告があり，これを承認した。

8. 入会申込時の警告表示に関する問題について

原田庶務幹事より，現在オンライン入会申込のページはSSL通信になっているが認証局の発行するデジタル証明書を未購入のため，セキュリティに関する警告が出てしまっているとの説明があり，これに対応するためデジタル証明書を購入（3万円程度/年）することを承認した。

9. その他

シニア会員制度について，現状では「長年放射光学会正会員として放射光科学に貢献してきた65歳以上の者」となって

いるが、例えば63歳で定年退職の場合、シニア会員になるためには2年間のブランクができてしまう。しかしシニア会員制度の本来の趣旨は定年退職後にも会員として貢献してもらうことにあり、定年退職者であれば65歳以上でなくともシニア会員として認めることとなった。

〈報告事項〉

1. JSR10報告, JSR11の準備状況

木村行事幹事より第23回年会・合同シンポ (JSR10) の参加者数、収支などについて報告があった。JSR10の引継ぎ (反省) 事項として、ここ数年、予稿集を事前に郵送したが届いていないという申し出が多々あったため、JSR11では予稿集事前郵送は廃止する方向で検討するとの説明があった。

また2011年1月7日(金)~10日(月)につくば国際会議場 エポカルで開催予定の第24回年会・合同シンポ (JSR11) 準備状況について、2月に第1回実行委員会を開催し、現在各共催団体に組織委員の推薦を依頼中であることが報告された。また市民公開講座について、JSR10は後援という形だったが、JSR11では本学会主催での開催を検討中であること、ランチオンセミナー・企業名入りストラップの配布を検討していることについて説明があった。

2. 第2回若手研究会公募について

木村行事幹事より、第2回若手研究会の公募に対して2件の申請があり、2010年4月3日にヒアリングを行った結果、小嗣真人氏 (SPRING-8/JASRI) 提案の「顕微分光のフロンティア」が採択されたとの報告があった。

3. 編集委員会報告

足立編集幹事より会誌の進捗状況、特集号、次期シリーズの検討状況、検出器シリーズの単行本出版検討状況について説明があった。編集委員会で会誌印刷費削減に向けたカラーページ等の見直しを行った結果、会誌のクオリティーは落とさないようにするため、カラーの必要がある図についてはそのままカラーとするが、カラーでなくてもよい図については査読の段階でチェックし、白黒もしくはグレースケールに変更することとなった。また前執行部からの引継ぎ事項であった「放射光ビームライン光学技術入門」の英文書籍出版について検討をしたが、翻訳コストがネックとなるため今回は見送ることとなった。

4. ブルーバックス出版の進捗状況

足立編集幹事よりブルーバックス出版の進捗状況について報告があった。編集委員会で、今回のブルーバックス出版を「放射光学会編」ではなく「ブルーバックス刊行特別委員会」による刊行物と位置づけてほしいとの要望があり、これについて幹事会で検討した結果、全ての刊行物の責任はあくまで放射光学会が持つものであるため、ブルーバックスについても「放射光学会編」とし、巻末に執筆者と編集責任者を明記することとなった。

5. 学術会議「大型計画等に関するシンポジウム」報告

尾嶋会長より2010年1月27日に日本学術会議講堂で開催された学術会議「物性物理学・一分野の大型施設の現状と将来」について報告があった。出席評議員より、このときに報告された放射光科学の将来計画について内容及び手続きの不備を指摘する意見があり、これについて本評議員会後に開催され

る第2回放射光大型計画WGで検討し、次回評議員会で報告することとした。

6. 学術会議「ノーベル化学賞記念シンポジウム (共催)」報告
尾嶋会長より2010年3月6日に東京大学本郷キャンパス薬学講堂で開催された本学会共催の学術会議「ノーベル化学賞記念シンポジウム」について、178名参加の盛況であったことが報告された。

7. SESAME/JSPS School 報告

下村評議員より2010年3月1日~5日にトルコで開催されたSESAME/JSPS Schoolについて報告があった。

8. 会員異動 (退会)

原田庶務幹事より第85回評議員会以降の退会申請者に関して正会員21名 (うち学生会員10名) との報告があった。また、会費3年間未納のための自動退会者30名を確認した。2010年4月10日現在の総会員数は1,326名 (うち学生会員138名)、賛助会員47社49口。

■会員異動

第86回評議員会 (2010年4月10日) で承認

《正会員入会》

鶴田 博嗣	SSRL/SLAC & Dept. Chem., Stanford University
宮山 勝	東京大学 先端科学技術研究センター
小林 篤	東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻尾嶋研究室
大沢 仁志	高輝度光科学研究センター
富樫 格	高輝度光科学研究センター 利用研究促進部門
岡田 育夫	NTT-AT ナノファブリケーション棟
山下 晃一	東京大学大学院工学系研究科
平光 雄介	大同大学
北森 武彦	東京大学大学院工学系研究科
梶原 行夫	広島大学大学院総合科学研究科
細川 好則	エックスレイ プレシジョン
一柳 光平	東京大学大学院新領域創成科学研究科
中尾 愛子	理化学研究所 先端技術基盤部門 連携支援チーム
押山 到	ソニー株式会社
野澤 俊介	高エネルギー加速器研究機構, 物質構造科学研究所, 放射光科学研究施設

以上15名

《学生会員入会》

畔田 吏	兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所 ナノマイクロシステム分野
岡谷 基弘	京都大学大学院工学研究科材料工学専攻材料設計工学研究室

以上2名

《退会会員》

正会員36名, 学生会員15名

《会員数》

会員1326名 (内学生138名) 賛助会員47社 (49口)

■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2010年 7/9	日本真空協会関西支部 & 日本表面科学会 関西支部合同セミナー2010 「CO2削減に必須の水素自動車・水素社会 実現に向けたインフラ開発」	神戸大学百年記念館 六甲ホール	日本真空協会関西支部, 日本表面科学会関西支部 E-mail: yteraoka@spring8.or.jp	23・3
7/25-27	埋もれた界面の X 線・中性子解析に関する ワークショップ2010	名古屋大学ベンチャー ビジネスラボラトリ	(社)応用物理学会 埋もれた界面の X 線 ・中性子解析研究会 E-mail: sakurai@yuhgiri.nims.go.jp	23・2
8/5-7	日本 XAFS 研究会 夏の学校	関西セミナーハウス	日本 XAFS 研究会 E-mail: t-yamamo@ias.tokushima-u.ac.jp	23・3
8/9-10	日本真空協会関西支部セミナー 第2回「役に立つ真空技術入門講座」	大阪市立工業研究所	日本真空協会関西支部 E-mail: vsj-kansai@steem.eei.eng.osaka-u.ac.jp	23・3
9/4-6	第13回 XAFS 討論会	立命館大学びわこ・く さつキャンパス ロー ム記念館	日本 XAFS 研究会 E-mail: jxafs13@st.ritsume.ac.jp	23・3
9/4-7	International conference on Many Particle Spectroscopy of atoms, molecules, clusters and surfaces (MPS2010)	東北大学片平さくら ホール	東北大学多元物質科学研究所・ MPS2010実行委員会 E-mail: mps2010_office@res.tagen.tohoku.ac.jp	23・3
9/7-10	第50回真空夏季大学	第50回真空夏季大学	日本真空協会 E-mail: ofc-vsaj@vacuum-jp.org	23・3
10/20-22	第51回高压討論会	仙台市戦災復興記念館	日本高压力学会 E-mail: words@highpressure.jp	23・3
10/22-23	第46回 X 線分析討論会	広島県情報プラザ多目 的ホール	(社)日本分析化学会 X 線分析研究懇談会 E-mail: hayakawa@hiroshima-u.ac.jp	23・3
10/25-29	The 6th International Workshop on Nano- Scale Spectroscopy and Nanotechnology 《NSS6》 「第6回ナノスケール分光及びナノテクノ ロジー国際会議」	神戸大学 六甲ホール	財団法人高輝度光科学研究センター (JASRI), 独立行政法人理化学研究 所, 神戸大学 E-mail: nss6@spring8.or.jp	23・3

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

■日本真空協会関西支部 & 日本表面科学会関西支部合同 セミナー2010 CO2削減に必須の水素自動車・水素社会実現に向けた インフラ開発

近年、CO2排出抑制は技術的にも政治的にも世界的な課題となっています。また、環境浄化も大きな問題です。それらの観点から化石燃料の消費を抑制してエネルギー源を多角化しようという取り組みがなされています。特に太陽光発電、燃料電池、水素・電気自動車に大きな関心が向けられています。わが国では水素自動車の実現・普及に向けて、今、産官学を挙げて大きな取り組みがなされつつあります。本セミナーでは、水素自動車普及に関連する技術開発から社会インフラ、材料研究、および、法整備に

至るまで幅広く斯界の専門家に解説していただきます。

主 催：日本真空協会関西支部、日本表面科学会関西支部

日 時：2010年7月9日(金) 13:00-17:10

場 所：神戸大学百年記念館 六甲ホール

(〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1)

参加費：無料

定 員：200名

申し込み締切り：平成22年7月5日(月)

申し込み方法：

電子メール、FAX、または官製ハガキによる場合は以下を記して下さい。

(1) 「2010合同セミナー申込み」

(2) 氏名(ふりがな)

- (3) 連絡先(勤務先または自宅住所(〒付記), Tel, Fax, 電子メール)
 (4) 参加区分(日本真空協会会員, 日本表面科学会会員, その他)
 (5) 神戸大学研究基盤センター機器分析部門見学を希望される場合は, その旨明記して下さい。

問合せ先:

日本真空協会・日本表面科学会 両関西支部幹事
 〒679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光都1丁目1-1
 ㈱日本原子力研究開発機構 寺岡有殿(てらおかゆうでん)
 Tel: 0791-58-2701 Fax: 0791-58-0311
 E-mail: yteraoka@spring8.or.jp

■日本 XAFS 研究会 夏の学校

主催: 日本 XAFS 研究会
日程: 2010年8月5日(木)~7日(土)
会場: 関西セミナーハウス
 (〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23)

参加費:

一般: 2万1千円(内訳: 講習会費6000円, 宿泊費7500円×2泊)
 学生: 1万6千円(内訳: 講習会費1000円, 宿泊費7500円×2泊)
 懇親会費: 1000円

人数: 50名

申込方法: 氏名, ふりがな, 性別, 所属, 学年, E-mail, 電話番号を, メールまたはファックスにて, 7月9日(金)までに申込下さい。

参加申込締切: 2010年7月9日(金)**参加申込・問い合わせ先:**

山本孝 日本 XAFS 研究会企画幹事 徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部
 Tel/Fax: 088-656-7263,
 E-mail: t-yamamo@ias.tokushima-u.ac.jp
 木村正雄 日本 XAFS 研究会企画幹事 新日本製鉄㈱ 先端技術研究所 解析科学研究部
 Tel: 0439-80-3130, Fax: 0439-80-2746,
 E-mail: kimura.masao@nsc.ac.jp

■日本真空協会関西支部セミナー第2回

「役に立つ真空技術入門講座」

主催: 日本真空協会関西支部
日時: 2010年8月9日(月)~10日(火) 9:30-17:00
場所: 大阪市立工業研究所
 (〒536-8553 大阪市城東区森之宮1丁目6番50号)

参加費:

日本真空協会個人会員 一般¥17,000, 学生¥5,500
 日本真空協会法人会員・日本真空工業会及び協賛団体会員
 一般¥18,000, 学生¥6,500
 非会員 一般¥22,000, 学生¥9,500

申込手続および申込先:

以下のいずれかの方法でお申し込みください。

1. オンライン申込み
 下記ホームページにアクセスし, 必要事項を入力してください。
2. メール(又はFAX)での申込み
 受講申込用紙を, 下記ホームページからダウンロードし, 下記アドレスにメール添付のファイル(又はFAX)で送ってください。

日本真空協会関西支部のホームページ
http://www.vacuum-jp.org/KANSAI/kansai_latest.html
 E-mail: vsj-kansai@steem.eei.eng.osaka-u.ac.jp
 日本真空協会関西支部事務局 真空入門講座担当 橋 信介

申込期間: 2010年5月19日(水)~7月23日(金)**定員:** 100名**■第13回 XAFS 討論会**

主催: 日本 XAFS 研究会
会期: 2010年9月4日(土)~6日(月)
会場: 立命館大学ローム記念館
 (〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1)

発表申込締切: 2010年6月27日(日)**予稿原稿締切:** 2010年7月25日(日)**参加登録予約申込締切:** 2010年8月30日(月)**討論主題:**

X線吸収微細構造(XAFS)及び関連現象に関する理論, 解析方法, 実験技術, 基礎及び応用研究

発表形式: 口頭発表及びポスター発表**発表申込方法:** 下記HPを参照ください。**参加登録費:**

一般3,000円(日本 XAFS 研究会会員は年会費2,000円を含む)
 学生1,000円

懇親会: 2010年9月5日(日), 立命館大学びわこ・くさつキャンパス内**参加登録予約申込方法:** 下記HPを参照ください。**問合せ先:** 〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1

立命館大学生命科学部

第13回 XAFS 討論会実行委員会 稲田康宏

E-mail: jxafs13@st.ritsumeai.ac.jp

<http://www.icc.sk.ritsumeai.ac.jp/jxafs13/>**■International conference on Many Particle Spectroscopy of atoms, molecules, clusters and surfaces (MPS2010)**

本国際会議は2年おきに欧州各国で開催されており, 今回で17回を数える。今回は初の非欧州国での開催となり, 多粒子相関分光の最先端研究に関するホットな議論と迅速な情報交換を目的とし, 光, 電子, 多価イオン等と標的物質との衝突・散乱動力学や標的電子構造・電子ダイナミクスを主なテーマとして議論する。標的とする対象は原子, 分子, クラスタ, 表面など多岐にわたる。

主 催：東北大学多元物質科学研究所・MPS2010実行委員会
日 時：2010年9月4日(土)～7日(火)
場 所：東北大学片平さくらホール
(980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1)
参加費：20,000円(2010年7月15日以前), 27,000円(2010年7月16日以降)
(詳しくは下記 URL 参照)
要旨申込締切日：2010年6月15日(下記 URL 参照)
連絡先：980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1
東北大学多元物質科学研究所
高橋正彦研究室内 MPS2010実行委員会事務局
電話 022-217-5385 FAX 022-217-5337
E-mail : mps2010_offie@res.tagen.tohoku.ac.jp
http://res.tagen.tohoku.ac.jp/~mps2010/

■第50回真空夏季大学

主 催：日本真空協会
協 賛：日本放射光学会, 他
期 間：2010年9月7日(火)～9月10日(金) 12:00
会 場：ヤマハリゾートつま恋
(〒436-0011 静岡県掛川市満水2000番地)
参加費：
一般 88,000円
日本真空協会法人会員に属する個人及び夏季大学協賛団体会員 80,000円
日本真空協会個人会員及び大学研究室員 68,000円
学生会員 50,000円
(いずれも宿泊費, 食費, テキスト代, 消費税等35,000円を含む)
申込締切：2010年7月31日(土)
問合せ先：
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館306号室
日本真空協会事務局
TEL : 03-3431-4395 FAX : 03-3433-5371
E-mail : ofc-vs@vacuum-jp.org
http://www.vacuum-jp.org/

■第51回高圧討論会

主 催：日本高圧力学会
協 賛：日本放射光学会, 他
日 時：2010年10月20日(水)～22日(金)
会 場：仙台市戦災復興記念館
(http://www.city.sendai.jp/aoba/sensai/basic_info/index.html)
交 通：
○バス：東北公済病院・戦災復興記念館前下車2分(JR仙台駅から約7分)
○地下鉄：広瀬通駅下車西4番出口10分(地下鉄仙台駅から泉中央行1分)
○タクシー：JR仙台駅西口から約5分・仙台空港から約50分
○徒歩：JR仙台駅西口から約25分

分 野：高圧力の科学と技術に関する次の分野：
①高圧装置・技術 ②固体物性 ③固体反応 ④流体物性
⑤流体反応 ⑥地球科学 ⑦生物関連 ⑧衝撃圧縮(ただし④, ⑤, ⑦には溶液, 界面, および食品を含む) ⑨シンポジウム「高圧生物科学：ミクロからマクロへ」 ⑩シンポジウム「超臨界の科学と技術」 ⑪シンポジウム「高圧中性子科学」 ⑫シンポジウム「レーザーショック：高強度パルスレーザーが切り拓く科学と応用」

発表形式：口頭発表, ポスター発表

特別企画：特別講演「学会設立20周年記念特別記念講演」

参加登録予約締切：

9月21日(火) 締切後は当日申込にてご参加ください。

参加費：

本会, 共催・協賛学協会会員(4,000円) 非会員(6,000円)

本会, 共催・協賛学協会学生会員(2,000円) 非会員学生(3,000円)

(当日申込の場合は各1,000円増しになります。)

懇親会：10月21日(木)夕刻

要旨集：5,000円

振込先：

郵便振替(01080-7-48066 日本高圧力学会)

銀行振込(みずほ銀行 出町支店 普通預金口座 1409296 日本高圧力学会)

申込先：

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-62-8

ビッグオフィスプラザ507 (有)ワズ内

日本高圧力学会事務局

Tel : 03-5952-8286 Fax : 03-5950-1292

E-mail : words@highpressure.jp

http://www.highpressure.jp/index.html

実行委員会事務局：

〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

東北大学大学院理学研究科 地学専攻 地球惑星物質科学科

大谷栄治(実行委員長) : Tel : 022-795-6662

E-mail : ohtani@mail.tains.tohoku.ac.jp

鈴木昭夫 : Tel : 022-795-6663

E-mail : a-suzuki@m.tains.tohoku.ac.jp

詳細は学会ホームページ <http://www.highpressure.jp/> の「第51回高圧討論会」をご覧ください。

■第46回 X線分析討論会

主 催：(株)日本分析化学会 X線分析研究懇談会

協 賛：日本放射光学会, 他

会 期：2010年10月22日(金)～23日(土)

会 場：広島県情報プラザ 多目的ホール

(〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7-47)

討論主題(申込書に主題番号を明記)：

(1) X線分析の材料解析への応用

(2) X線イメージングおよび顕微分析

(3) X線検出器の開発と新規分析法への展開

(4) X線吸収分光法とその応用

(5) 表面分析 (XPS, TXRF)

(6) その他

講演申込要項：

- 講演内容は未発表のものに限ります。
- 依頼講演に加え、口頭発表とポスター発表を受け付けます。口頭発表では討論主題ごとのセッションをつくる予定です。申し込みにあたっては主題番号を明記して下さい。ただし、ポスター発表に変更していただく場合もありますので、ご了承ください。
- 依頼講演は1講演40分(討論5分を含む)、口頭発表は1講演20分(討論5分を含む)の予定です。液晶プロジェクト(Windows パソコンを用意します)での発表を基本とします。
- 申込講演の採否及びプログラム編成は実行委員会に一任願います。
- 講演者は後日参加登録してください。依頼講演者も参加登録料をお支払いいただきます(参加登録料：一般予約4,500円、一般当日6,000円、学生2,000円、ミキサー1,000円)。

ミキサー：10月22日(金) 広島県情報プラザ 1F レストラン マルコポーロ(予定)

講演申込締切日：7月23日(金)【必着】

講演要旨締切日：9月24日(金)【必着】

予約登録締切日：10月8日(金)【必着】

講演申込方法：

下記ホームページにアクセスの上、申込用紙に発表題目等の必要事項を記入し、Eメールにて送信して下さい(やむを得ない場合は申込用紙のFAXも可)。

詳細および最新情報は以下のホームページを御覧ください。

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/hayakawa/X46/index.html>

講演申込先・要旨原稿送付先：

〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1

広島大学大学院工学研究科 早川慎二郎

電話：082-424-7609

E-mail：hayakawa@hiroshima-u.ac.jp

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2

五反田サンハイツ304号

社団法人日本分析化学会 X線分析研究懇会

電話：03-3490-3351, FAX：03-3490-3572

E-mail：hm_tanaka@jsac.or.jp

■The 6th International Workshop on Nano-Scale Spectroscopy and Nanotechnology 《NSS6》

「第6回ナノスケール分光及びナノテクノロジー国際会議」

近年、無機材料分野をはじめとする材料科学において、ナノチューブやナノワイヤなどナノスケール材料の形成技術の急速な進展と相俟って、これらの材料物質群の物性研究や量子現象に基づく新機能材料・デバイスの開発に不可欠なナノスケールの位置分解能をもった評価・解析技術の研究開発が活発に行われている。本国際会議の目的は、先端的なナノスケール評価・解析技術である「ナノスケール分光法」を中心テーマに据え、nmオーダーの空間分解能を有する各種の分光型ナノスケール顕微技術に携わる研究者間の情報交換や技術討論を通じて、異なる手法を跨いだ国際間の共同研究並びに人的交流へと展開させ、本分野のさらなる進化を目指すことである。

主催：財団法人高輝度光科学研究センター (JASRI)、独立行政法人理化学研究所、神戸大学

協賛：日本放射光学会、他

会期：2010年10月25日(月)～29日(金)

会場：神戸大学、六甲ホール(神戸市)

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

参加費：

30,000円、学生12,000円(2010年8月31日までに支払いの場合)

抄録締め切り：2010年7月16日

連絡・問合せ先：

NSS6 実行委員会委員長 木下豊彦

〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1, SPring-8

高輝度光科学研究センター (JASRI) 利用研究促進部門

Tel 0791-58-0802 (PHS3129), Fax 0791-58-0830

E-mail：nss6@spring8.or.jp

詳細は URL：http://nss6.spring8.or.jp/を参照のこと。

■新刊紹介

■放射光による応力とひずみの評価

著 者：田中啓介・鈴木賢治・秋庭義明・菖蒲敬久
出版社：養賢堂
ISBN 番号：978-4-8425-0457-5
定 価：3,990円（本体価格3,800円）

■量子物質科学入門 量子化学と固体電子論：二つの見方

著 者：山本知之
出版社：コロナ社
ISBN 番号：978-4-339-06617-3
定 価：2,940円（本体価格2,800円）

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内

編集委員長 足立伸一
渉外幹事 水木純一郎

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr233

Password : k4we3drn

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等御座いましたら、水木 (mizuki.junichiro@jaea.go.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、足立 (shinichi.adachi@kek.jp) までお願いします。